

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月13日
【四半期会計期間】	第36期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	株式会社アミューズ
【英訳名】	AMUSE INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 島中 達郎
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区桜丘町20番1号
【電話番号】	(03)5457-3333
【事務連絡者氏名】	代表取締役専務取締役 齊藤 泰幸
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区桜丘町20番1号
【電話番号】	(03)5457-3333
【事務連絡者氏名】	代表取締役専務取締役 齊藤 泰幸
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第35期 第1四半期 連結累計期間	第36期 第1四半期 連結累計期間	第35期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
営業収入(千円)	9,138,558	5,755,912	30,871,879
経常利益(千円)	1,431,462	673,246	4,245,765
四半期(当期)純利益(千円)	853,712	336,245	2,480,381
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	892,497	391,002	2,611,372
純資産額(千円)	14,099,606	15,914,153	15,680,788
総資産額(千円)	22,593,102	21,280,263	23,043,245
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	96.37	37.97	280.04
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	60.8	72.8	66.2
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	490,564	1,301,051	2,554,962
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	559,218	308,146	2,098,785
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	231,892	158,863	373,844
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	7,734,731	6,373,043	8,126,336

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 営業収入には消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

（当第1四半期連結累計期間の経営成績）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）	増減	増減率 （％）
営業収入	9,138	5,755	3,382	37.0
営業利益	1,445	627	818	56.6
経常利益	1,431	673	758	53.0
四半期純利益	853	336	517	60.6

【経済状況】

我が国経済は、新政権の経済政策や日銀の金融政策への期待感から円安、株高傾向が続き、輸出や個人消費の持ち直しなど、マインドの改善にも支えられ景気回復基調となっております。

【当社グループの事業概況】

当社グループの経営成績は営業収入57億5千5百万円（前年同四半期比37.0%減）、営業利益6億2千7百万円（前年同四半期比56.6%減）、経常利益6億7千3百万円（前年同四半期比53.0%減）、四半期純利益3億3千6百万円（前年同四半期比60.6%減）となり、事業が集中した前年同四半期に比べると大幅な減収減益ではありますが、アーティストマネジメント事業・メディアビジュアル事業とも、第2四半期以降により多くの事業を予定しており、概ね計画通りに推移しております。

<営業収入>

- ・ 当社アーティストが主演や演出を手がける舞台公演が減少
 - ・ 大型作品がなくDVD販売収入が大幅に減少
- 上記要因などにより、減収となりました。

<営業利益、経常利益、四半期純利益>

全体的には、減収要因により減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（営業収入）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）	増減	増減率 （％）
アーティストマネジメント事業	6,736	4,727	2,008	29.8
メディアビジュアル事業	1,983	494	1,488	75.0
コンテンツ事業	418	533	114	27.3
合計	9,138	5,755	3,382	37.0

(セグメント利益)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	増減	増減率 (%)
アーティストマネジメント事業	1,544	814	730	47.3
メディアビジュアル事業	39	63	103	-
コンテンツ事業	85	131	46	54.0
調整額	224	254	30	-
合計	1,445	627	818	56.6

【アーティストマネジメント事業】

営業収入47億2千7百万円(前年同四半期比29.8%減)、セグメント利益8億1千4百万円(前年同四半期比47.3%減)となり減収減益となりました。

【主な事業】

- ・ イベント収入：ONE OK ROCK、Perfumeのコンサートツアーなど
- ・ 出演収入・CM収入：サザンオールスターズ、福山雅治、大泉洋など
- ・ 印税収入(新譜)：桑田佳祐ライブDVDなど
- ・ ファンクラブ収入：サザンオールスターズのファンクラブ会員収入など

<営業収入>

- ・ イベント収入(舞台公演の実施)が減少
(前年同四半期は地球ゴージャスや佐藤健出演の「ロミオ&ジュリエット」などの舞台公演を実施)
- ・ 商品売上収入が減少
(前年同四半期は福山雅治ライブDVDを2タイトル発売)
上記要因などにより減収となりました。

<セグメント利益>

減収要因により減益となりました。

【メディアビジュアル事業】

営業収入4億9千4百万円(前年同四半期比75.0%減)、セグメント損失6千3百万円(前年同四半期は3千9百万円のセグメント利益)となり、減収減益となりました。

【主な事業】

- ・ 大泉洋主演邦画「グッモーエビアン！」
- ・ 洋画「ジャッジ・ドレッド」
- ・ 台湾ドラマ「スクリュー・ガールー発逆転婚！！」
などのDVD販売

<営業収入>

- ・ 大型作品がなく、DVD販売収入が大幅に減少
(前年同四半期は「三銃士/王妃の首飾りとダ・ヴィンチの飛行船」、「カイジ2人生奪回ゲーム」、「一命」、「1911」などを販売)
上記要因などにより減収となりました。

<セグメント利益>

減収要因により減益となりました。

【コンテンツ事業】

営業収入 5 億 3 千 3 百万円（前年同四半期比27.3%増）、セグメント利益 1 億 3 千 1 百万円（前年同四半期比54.0%増）となり、増収増益となりました。

【主な事業】

- ・ サザンオールスターズ、福山雅治、B E G I N、ポルノグラフィティ、P e r f u m e などによる旧譜楽曲の販売及び旧譜楽曲の二次使用

<営業収入>

貸与報酬の増加などにより増収となりました。

<セグメント利益>

増収要因により増益となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第 1 四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ17億5千3百万円減少し、当第 1 四半期連結会計期間末には63億7千3百万円となりました。

当第 1 四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は下記のとおりであります。

（単位：百万円）

	前第 1 四半期連結累計期間 （自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日）	当第 1 四半期連結累計期間 （自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日）	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	490	1,301	1,791
投資活動によるキャッシュ・フロー	559	308	251
財務活動によるキャッシュ・フロー	231	158	73

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は13億1百万円（前年同四半期は4億9千万円の獲得）となりました。

これは、主に税金等調整前四半期純利益及び営業債権の減少に伴う資金増加要因等はありませんが、法人税等の支払額及び営業債務の減少に伴う資金減少要因等が上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は3億8百万円（前年同四半期は5億5千9百万円の使用）となりました。

これは、主に投資有価証券の取得による資金減少要因などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1億5千8百万円（前年同四半期は2億3千1百万円の使用）となりました。

これは、主に配当金の支払に伴う資金減少要因などによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第 1 四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	37,247,040
計	37,247,040

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,311,760	9,311,760	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	9,311,760	9,311,760	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	9,311,760	-	1,587,825	-	1,694,890

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 456,300	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,636,500	86,365	-
単元未満株式	普通株式 218,960	-	-
発行済株式総数	9,311,760	-	-
総株主の議決権	-	86,365	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の「株式数」欄には、証券保管振替機構名義の株式が200株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数2個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社アミューズ	東京都渋谷区桜丘町 20番1号	456,300	-	456,300	4.90
計	-	456,300	-	456,300	4.90

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,646,930	8,895,415
受取手形及び営業未収入金	3,387,783	2,570,853
商品及び製品	1,041,752	1,114,293
仕掛品	1,183,288	1,497,299
貯蔵品	39,494	53,949
その他	1,191,654	1,265,618
貸倒引当金	308,627	277,257
流動資産合計	17,182,276	15,120,172
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	988,736	988,510
土地	1,760,487	1,760,487
その他(純額)	76,288	83,165
有形固定資産合計	2,825,512	2,832,163
無形固定資産		
投資その他の資産	215,362	205,179
投資有価証券	927,692	1,194,719
その他	1,898,076	1,933,550
貸倒引当金	5,674	5,521
投資その他の資産合計	2,820,093	3,122,748
固定資産合計	5,860,968	6,160,091
資産合計	23,043,245	21,280,263

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	4,437,426	3,583,696
未払法人税等	954,542	150,127
役員賞与引当金	37,200	-
返品調整引当金	37,000	4,743
その他	851,089	692,187
流動負債合計	6,317,258	4,430,754
固定負債		
退職給付引当金	910,318	852,302
役員退職慰労引当金	16,472	16,472
その他	118,408	66,581
固定負債合計	1,045,199	935,355
負債合計	7,362,457	5,366,110
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,587,825	1,587,825
資本剰余金	1,694,890	1,694,890
利益剰余金	12,598,860	12,799,412
自己株式	481,250	483,664
株主資本合計	15,400,325	15,598,463
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,272	16,223
為替換算調整勘定	153,578	129,391
その他の包括利益累計額合計	144,306	113,168
少数株主持分	424,769	428,858
純資産合計	15,680,788	15,914,153
負債純資産合計	23,043,245	21,280,263

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業収入	9,138,558	5,755,912
営業原価	6,789,238	4,406,952
営業総利益	2,349,319	1,348,959
返品調整引当金繰入額	1,040	-
返品調整引当金戻入額	-	32,257
差引営業総利益	2,348,279	1,381,216
販売費及び一般管理費	902,552	753,545
営業利益	1,445,727	627,671
営業外収益		
受取利息	1,847	1,449
受取配当金	908	4,109
為替差益	-	10,045
受取手数料	1,018	4,051
持分法による投資利益	6,713	-
貸倒引当金戻入額	-	31,523
その他	4,562	967
営業外収益合計	15,049	52,147
営業外費用		
事業組合投資損失	1,170	-
為替差損	27,678	-
持分法による投資損失	-	3,766
固定資産除却損	47	2,805
その他	418	1
営業外費用合計	29,314	6,572
経常利益	1,431,462	673,246
税金等調整前四半期純利益	1,431,462	673,246
法人税、住民税及び事業税	500,376	151,837
法人税等調整額	51,878	161,544
法人税等合計	552,255	313,381
少数株主損益調整前四半期純利益	879,207	359,864
少数株主利益	25,494	23,618
四半期純利益	853,712	336,245

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	879,207	359,864
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,225	6,951
為替換算調整勘定	14,515	24,187
その他の包括利益合計	13,290	31,138
四半期包括利益	892,497	391,002
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	867,003	367,383
少数株主に係る四半期包括利益	25,494	23,618

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,431,462	673,246
減価償却費	51,619	49,844
貸倒引当金の増減額(は減少)	20,989	31,523
役員賞与引当金の増減額(は減少)	35,200	37,200
返品調整引当金の増減額(は減少)	1,040	32,257
退職給付引当金の増減額(は減少)	17,759	58,016
受取利息及び受取配当金	2,755	5,558
持分法による投資損益(は益)	6,713	3,766
事業組合投資損益(は益)	1,170	-
固定資産除却損	47	2,805
営業債権の増減額(は増加)	1,065,238	669,059
たな卸資産の増減額(は増加)	63,539	401,007
営業債務の増減額(は減少)	941,573	853,729
未払消費税等の増減額(は減少)	67,538	32,125
その他の流動資産の増減額(は増加)	178,405	51,634
その他の流動負債の増減額(は減少)	169,254	211,072
その他	78,889	117,070
小計	1,651,226	368,222
利息及び配当金の受取額	1,522	5,522
法人税等の支払額	1,175,853	941,224
法人税等の還付額	13,669	2,871
営業活動によるキャッシュ・フロー	490,564	1,301,051
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	500,000	1,500,000
定期預金の払戻による収入	-	1,500,000
有形固定資産の取得による支出	11,607	12,226
無形固定資産の取得による支出	7,301	30,191
投資有価証券の取得による支出	550	260,000
貸付けによる支出	44,153	-
貸付金の回収による収入	868	716
その他	3,525	6,444
投資活動によるキャッシュ・フロー	559,218	308,146
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	168	2,413
配当金の支払額	222,404	134,142
少数株主への配当金の支払額	6,642	19,530
その他	2,676	2,776
財務活動によるキャッシュ・フロー	231,892	158,863
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,865	14,768
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	291,680	1,753,292
現金及び現金同等物の期首残高	8,026,411	8,126,336
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,734,731	6,373,043

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
現金及び預金勘定	8,754,242千円	8,895,415千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	1,019,511	2,522,371
現金及び現金同等物	7,734,731	6,373,043

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月24日 定時株主総会	普通株式	221,463	25	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額の内訳 普通配当 10円 記念配当 15円

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月23日 定時株主総会	普通株式	132,830	15	平成25年3月31日	平成25年6月24日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	計		
営業収入						
外部顧客への 営業収入	6,736,677	1,983,046	418,834	9,138,558	-	9,138,558
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	11,860	183,099	15,073	210,033	210,033	-
計	6,748,538	2,166,146	433,907	9,348,591	210,033	9,138,558
セグメント利益	1,544,699	39,788	85,522	1,670,010	224,283	1,445,727

(注)1. セグメント利益の調整額 224,283千円には、セグメント間取引消去15,487千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 239,770千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	計		
営業収入						
外部顧客への 営業収入	4,727,869	494,988	533,054	5,755,912	-	5,755,912
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	15,772	54,367	28,734	98,874	98,874	-
計	4,743,641	549,355	561,789	5,854,786	98,874	5,755,912
セグメント利益 又は損失()	814,330	63,581	131,721	882,470	254,798	627,671

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額 254,798千円には、セグメント間取引消去821千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 255,620千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	96円37銭	37円97銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	853,712	336,245
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	853,712	336,245
普通株式の期中平均株式数(株)	8,858,418	8,854,632

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月13日

株式会社アミューズ
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 百井 俊次 印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 石田 大輔 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アミューズの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アミューズ及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。